

令和3年度（2021年度）社会福祉法人三重高齢者福祉会事業報告

I 混迷が一挙に増した2021年度

～私たちは現状をどう捉え、どう臨んでいけばよいのか。～

1. 歴史が逆回転したかのような戦後「最大の危機」に見舞われた年度でした。

2022.2.24、ロシア軍によるウクライナ侵略。曲がりなりにも21世紀のこの時代、主権国家に対する大規模な軍事進攻が公然と行われようとは。力による支配がまかり通ることになれば、世界は暗澹たる時代が到来することになります。時折しも100年前の第一次世界大戦とパンデミック（スペイン風邪・世界人口の1/4、5億人の感染者数、5千万人とも言われる死者数）を想起させられます。今、世界は暗雲が立ち込め暗い影を落としています。ウクライナの人々と比べようありませんが、私たちも経済を始め相当の影響を被ることは避けられません。一刻も早い停戦・復興、そして同じようなこと繰り返さないために何ができるか。正念場の時に直面しています。

2. 変異株のコロナウイルスで災禍を極めたこの一年でした。

2019年末に端を発したコロナウイルスは、度重なる変異株において猛威を振るい、施設関係のクラスター発生等、この一年感染対策、仕事・生活をめぐっての緊張感が止まない一年でした。死亡者や後遺症への警戒も含め後年のため、この一年の状況を数字上で確認しておきましょう。

世界累計感染者数	5.17億人(2021年5月時点1.6億人)	前年比3.2倍
世界累計死亡者数	625万人(2021年5月時点330万人)	前年比1.9倍
国内累計感染者数	814万人(2021年5月時点66万人)	前年比12.3倍
国内累計死亡者数	2.99万人(2021年5月時点1.1万人)	前年比2.7倍

となっていない。[2022年5月9日現在]

3. パンデミック・戦争・気候変動問題等からみえてくる私たちへの問いかけ。

パンデミックにおける感染予防と社会経済対策、戦争における人権と利権、気候変動対策における関心の程度等。あらためて問われているのは、私たちは何を大切に、何を優先していけばいいのか、ということだと思います。その際、生きている一人ひとりの実存(個)に対する視点が、ややもすると、共同体(全体)の観点の中で埋没してはいないかということです。一方でパンデミック・紛争・温暖化等の問題は、冷戦後、急激に広まったグローバル化(国際化)が資本主義・覇権主義等の競争に一層拍車をかけ、結果として逆にブロック化(分断)を強めてしまったことがあります。

参照：中沢新一・波多野一郎『イカの哲学』21世紀の平和学はここから始まる。

4. 究極の解は、グローバリズムの徹底＝「世界共和国」か。

「共同体」の役割は個人の実存(生存・自由)の権利を守ることにあり、という点から、あまりに世俗化してしまった感がある「人権・民主主義」等を、この際あらためて深堀・考察することが必要になっていると思います。

さらにグローバル化が招いた負の側面から学ぶとすれば、グローバル化の不徹底にあったのではないかということ。むしろ究極のグローバル化を図ることが、現在地球を取り巻いている諸難題への解答になるのではないのか。パンデミックに備える世界均等ワクチン接種、紛(戦)争防止のための世界集団安全保障体制、負荷を公平分担する世界気候変動対策等々。グローバル化を全面的に推進し、ひいては国境という壁をなくしていき「世界共和国」にもっていくこと、それが目指すべき世界の形ではないでしょうか。途方もなく長い道程かもしれませんが、少なくとも当面はSDGs(持続可能な開発目標)の具体化等、国連機能の強化・結集から始めるのは夢物語ではないと考えます。

参照：日本経済新聞 2020.4.24 朝刊

〈地球温暖化で住まいを追われる「気候難民」が2020に3070万人生まれ、紛争難民の3倍に上った、2050年には2億人にも。〉

Ⅱ この一年間注力してきた基本課題

①日々の業務のなかで、「利用者・ご家族、地域が求めていることは何か」、を念頭におきながら仕事に取り組んできました。その際、道しるべの一つとしての『基本理念』『倫理綱領(行動指針)』『私たちのめざすもの』と照らし合わせながら進めてきました。

②私たちの源流は協同組合です。協同組合の理念は“一人は皆のために、皆は一人のために”です。新しい働き方として、画期的事業法人格『労働者協同組合法』が2020年12月に成立しました。2022年10月から施行されます。

この法の精神を受け止め、働く仲間各自が公正さの感受と適正なルール運営が実感できる職場づくりに努めてまいりました。

Ⅲ 私たちのこの一年の主な取組

1. 私たちが活動の柱として取組んだこと。

- ①新型コロナ感染拡大防止・予防対策
- ②『行動指針』を具体化した「よく食べ・よく話し・よく動く」及び『学び・考え・行動する』の実践に努めてきました。
- ③協和苑短期入所増改築・通所介護改築計画の推進
- ④組織・業務改革の規程等改定・ICTの導入
- ⑤事業継続・職場環境改善のための設備・機器等の補修及び更新

2. 具体的な主な動き・取組等

(1)新型コロナウイルス感染症対策

- ①対応・予防策
 - *衛生管理の強化・3密の回避等
 - *社会的PCR検査の実施(三重県)
 - *JKA新型コロナ感染症拡大防止策補助事業
- ②事業継続のための制度活用
 - *感染流行下サ提供体制確保事業(三重県)
 - *感染防止対策支援補助金(三重県)
 - *オンライン面会支援奨励金(松阪市)
- ③感染症発生時の対応
 - *松阪保健所…感染報告と経過観察
 - *松阪市役所…感染報告(事故報告)
 - *各関係機関…居宅へ状況報告(FAX)、HP掲載
 - *利用者/家族…状況報告と経過確認・抗原検査等実施・施設内療養
 - *施設/事業所…一時的利用制限・事業所内消毒・職員抗原検査

(2)業務推進事項

- ①デジタル化推進
 - ・ICT導入/介護ロボット導入計画/SNS連絡網整備推進/ホームページリニューアル
- ②施設整備計画検討
 - ・設計監理業務委託/施設図面検討/資金計画検討/他法人事業譲渡検討
- ③給食業務提供体制検討
 - ・12/15給食体制検討会議(セントラルキッチン構想)
- ④みつばネットワーク活動の推進
 - ・4/9徳和公民館打ち合わせ(南徳和地区住民協、第1包括支援センター参加)
 - ・お手伝い訪問事業 年4回(三重高齢者福祉会活動分)
 - ・3法人共同研修 年3回(看取り、ACP、終末期の薬)
- ⑤規程変更
 - ・就業規則の見直し

(3)各種補助金等申請

名 称 (対象事業所)	補助対象	補助/助成額	結果
吉田福祉基金 助成/寄贈事業 (協和苑)	車椅子 5 台	寄 贈	採択
介護ロボット導入支援金 (短期)	介護ベッド	8,640,000 円	不採択
ICT 導入支援金 (居宅)	タブレット/ソフト他	524,000 円	採択
松阪市オンライン面会支援奨励金 (愛生苑)	オンライン面会環境	100,000 円	採択
感染防止対策支援補助金 (全事業)	衛生用品	70,000 円	採択
JKA 福祉車両の整備補助金 (愛生苑)	軽リフト車	1,125,000 円	採択
感染流行下サ提供体制確保事業補助金	感染対応費用等	796,000 円	採択
JKA 新型コロナ感染症拡大防止策補助事業	感染防止備品他	884,000 円	採択

(4)設備・修繕・調達等(主な品目・概算)

日付	区分	内容 (詳細)	金額 (税込)	備考
6 月	協和苑/愛生苑	職員通用キーレス錠取付	192,500 円	
8 月	居宅介護支援	居宅記録システム (管理ソフト)	399,300 円	ICT 導入補助
8 月	居宅介護支援	居宅記録タブレット×3 台	199,320 円	ICT 導入補助
9 月	協和苑/愛生苑	感染拡大防止消耗器具備品購入	844,400 円	JKA 公益補助
10 月	協和苑	火災通報設備更新	352,000 円	火災保険対象
10 月	協和苑	自家発電機修理	594,000 円	
10 月	愛生苑	居室床特別清掃	159,500 円	
11 月	短期入所生活介護	記録システム 1 ライセンス取得	141,900 円	
1 月	愛生苑	全館エアコン洗浄	1,599,400 円	
2 月	協和苑/愛生苑	会計ソフトバージョンアップ	253,000 円	
3 月	居宅介護支援	モバイルプリンター×3 台	123,090 円	ICT 導入補助

(5)行政・地域・関係諸団体との連携

開催日	内容	場所等
4 月 9 日	地域支援事業徳和公民館打ち合わせ	徳和公民館
5 月 15 日	松阪市介護サービス連絡協総会	書面議決
6 月 10 日	第 2 回接遇マナー研修会	吉田福祉基金
6 月 13 日	松阪市介護サービス連絡協総会運営委員会	ONLINE
6 月 18 日	松阪市防災会議	松阪市福祉会館
6 月 18 日	日本労協連総会	ONLINE
6 月 20 日	三重県健康福祉生協総代会	松阪スポーツ振興センター
7 月 28 日	労協連・高齢協社福協議会代表者会議	ONLINE
8 月 4 日	松阪市介護サービス連絡協総会運営委員会	ONLINE
8 月 18 日	労協連・高齢協社福協議会代表者会議	ONLINE
9 月 17 日	労協連・高齢協社福協議会代表者会議	ONLINE
10 月 11 日	松阪市介護サービス連絡協総会運営委員会	ONLINE
11 月 12 日	福祉避難所開設・運営会議	松阪市福祉会館
1 月 22 日	みつばネットワーク 3 法人共同研修会	ONLINE
2 月 26 日	みつばネットワーク 3 法人共同研修会	ONLINE
3 月 27 日	みつばネットワーク 3 法人共同研修会	ONLINE

(6)学校関係との交流又は研修受入

開催日	内容	場所等
コロナ禍の為 中止	三重県教職員職場体験	
コロナ禍の為 中止	三重県教員免許取得介護体験 (学生)	
コロナ禍の為 中止	三重県県人材センター職場体験	
10 月 26 日/11 月 2 日. 4 日. 5 日	徳和小学校施設見学	協和苑

3. 各事業及び部門別活動の詳細

(1) 通所介護事業（総合事業含む）

①月平均実利用者数 男性 15.1 名、女性 49.8 名、計 64.9 名（前期比 97.0%）

②1 日平均利用者数 22.9 人（前期比 95.0%）

③年齢別登録状況（令和 3 年度平均）

平均年齢（男性：83.5 歳 女性：87.0 歳 全体：86.2 歳）

年 齢	人数（人）	比率（%）	年 齢	人数（人）	比率（%）
～74 歳	4.4	6.8	85～89 歳	22.3	34.3
75～79 歳	5.8	8.9	90 歳～	20.1	31.0
80～84 歳	12.3	19.0	合 計	64.9	100.0

・地区別利用状況（令和 3 年度平均）

地 区	人数（人）	比率（%）	地 区	人数（人）	比率（%）
下村町	10.4	16.0	垣鼻町	2.7	4.2
久保町	9.4	14.5	大黒田町	1.5	2.3
上川町	12.6	19.4	その他	23.5	36.2
虹ヶ丘町	4.8	7.4	合 計	64.9	100.0

④年間介護度別利用割合

平均要介護度：（男：2.7 女：2.5 全体：2.6 ）

介護度	年間利用延人員（人）	比率（%）	介護度	年間利用延人員（人）	比率（%）
要支援①	21	0.3	要介護 3	2,513	30.2
要支援②	201	2.4	要介護 4	1,352	16.3
要介護 1	1,715	20.6	要介護 5	508	6.1
要介護 2	2,006	24.1	合 計	8,316	100.0

(2) 短期入所生活介護事業（介護予防事業含む）

①月平均実利用者数 男性 11.2 名、女性 37.2 名、計 48.3 名（前期比 92.4%）

②1 日平均利用者数 27.2 人（前期比 98.2%）

③1 人当月平均利用日数 17.2 日（男 17.5 日 女 17.0 日）

④年齢別登録状況（令和 3 年度平均）

平均年齢（男性：85.3 歳 女性：88.6 歳 全体：87.8 歳）

年 齢	人数（人）	比率（%）	年 齢	人数（人）	比率（%）
～74 歳	3.3	6.8	85～89 歳	20.2	41.8
75～79 歳	0.8	1.7	90 歳～	18.2	37.7
80～84 歳	5.8	12.0	合 計	48.3	100.0

・地区別利用状況（令和 3 年度平均）

地 区	人数（人）	比率（%）	地 区	人数（人）	比率（%）
下村町	1.4	2.9	虹ヶ丘町	2.6	5.4
久保町	4.8	9.9	垣鼻町	0.3	0.7
大黒田町	4.1	8.5	その他	31.7	65.6
上川町	3.4	7.0	合 計	48.3	100.0

⑤年間介護度別利用割合

平均要介護度：（男：3.3 女：3.1 全体：3.2 ）

介護度	年間利用延人員（人）	比率（%）	介護度	年間利用延人員（人）	比率（%）
要支援①	0	0	要介護 3	4,202	42.3
要支援②	21	0.2	要介護 4	3,034	30.5
要介護 1	421	4.2	要介護 5	439	4.4
要介護 2	1,826	18.4	合 計	9,943	

(3) 居宅介護支援事業（介護予防・総合事業含む）

①月平均ケアプラン数

*介護予防ケアマネジメント 10.0 件（前期比 119.0%）

*介護予防支援 8.0 件（前期比 117.6%）

*居宅介護支援 82.8 件（前期比 99.0%）

・介護度別ケアプラン数（令和3年度平均）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
ケアプラン数	8.5	9.0	23.8	27.0	16.8	9.8	5.5	100.4
比率(%)	8.5	9.0	23.7	26.9	16.7	9.8	5.4	100.0

(4)地域支援事業（松阪市委託事業）

- ・松阪市生活管理指導短期宿泊運営事業 0 人

(5)在宅介護支援センター

※周辺地域から直接の相談有り。居宅介護支援事業所でのケアプラン引き受けを行う。

(6)特別養護老人ホーム愛生苑

- ・1日平均入居者数 男性 10.0名、女性 29.7名、計 39.7名（前期比101.0%）

- ・年齢別入居状況（令和3年度平均）

平均年齢（男性：87.3歳 女性：93.0歳 全体：90.2歳）

年 齢	人数(人)	比率(%)	年 齢	人数(人)	比率(%)
～79歳	2.8	7.1	90～94歳	14.8	37.3
80～84歳	4.3	10.8	95歳～	13.0	32.7
85～89歳	4.8	12.1	合 計	39.7	

- ・入居期間別入居者数（令和3年度平均）

平均入所期間：45.6ヶ月（1,386日）

期間	人数	期間	人数	期間	人数
12ヵ月未満	5.3	3年以上4年未満	6.3	5年以上6年未満	2.6
1年以上3年未満	13.3	4年以上5年未満	3.5	6年以上	8.4

- ・年間介護度別利用割合

平均要介護度：（男：4.2 女：4.1）

介護度	年間利用延人員(人)	比率(%)	介護度	年間利用延人員(人)	比率(%)
要介護3未満	0	0.0	要介護4	8,659	60.2
要介護3	2,106	14.6	要介護5	3,616	25.2
			合 計	14,381	

※入院期間人数含む

(7)法人本部業務

①役員会等運営

【評議員会】

開催日/議案等内容		
6月14日	第1号議案	令和2（2020）年度事業報告（案）について
	第2号議案	令和2（2020）決算報告（案）について
	第3号議案	新理事・監事・第三者委員の選任について
10月4日	第1号議案	在宅複合型施設協和苑増築増床計画（案）について
3月28日	報 告	これまでの状況報告について
	第1号議案	令和3（2021）年度資金収支第1次補正予算（案）について
	第2号議案	令和4（2022）年度事業計画（案）について
	第3号議案	令和4（2022）年度資金収支当初予算（案）について
	第4号議案	理事辞任に伴う新理事の選任について

【理事会・監事監査】

開催日/議案等内容	
5月24日	令和3年度における理事の業務執行、計算関係書類及び事業報告等の監査
5月28日	第1号議案 令和2(2020)年度事業報告(案)について 第2号議案 令和2(2020)決算報告(案)について [監事監査報告] 第3号議案 評議員選任解任委員の選任について 第4号議案 新評議員選任候補者について 第5号議案 評議員選任委員会の招集について 第6号議案 新理事・監事・第三者委員選任候補者について 第7号議案 定時評議員会の招集について
6月14日	第1号議案 理事長及び業務執行理事職務執行状況報告について 報 告 新役員の選任報告について 第2号議案 代表理事の互選について 第3号議案 業務執行理事の選任について 第4号議案 在宅複合型施設協和苑増築計画(案)について
9月24日	第1号議案 臨時評議員会の招集について
10月4日	第1号議案 理事長及び業務執行理事職務執行状況報告について 第2号議案 就業規則関連規程の改定(案)について 第3号議案 在宅複合型施設協和苑増築増床計画(案)について 第4号議案 競争入札審査会設置要領の一部改定について 第5号議案 競争入札審査会の設置と審査委員の選任について
10月8日	第1号議案 協和苑ショートステイ増築工事設計監理業務委託業者について 第2号議案 協和苑ショートステイ増築工事業資金の借入れについて
12月27日	第1号議案 理事長及び業務執行理事職務執行状況報告について 第2号議案 令和4(2022)年度事業計画(案) 骨子について 報 告 協和苑ショートステイ増築工事スケジュールの延期について
3月22日	第1号議案 理事長及び業務執行理事職務執行状況報告について 第2号議案 令和3(2021)年度資金収支第1次補正予算(案)について 第3号議案 令和4(2022)年度事業計画(案)について 第4号議案 令和4(2022)年度資金収支当初予算(案)について 第5号議案 特別養護老人ホーム愛生苑施設長の任免について 第6号議案 理事辞任に伴う新理事の選任候補者について 第7号議案 就業規則〔給与規程〕の一部変更(案)について 第8号議案 第2回臨時評議員会の招集について

【その他】

開催日/議案等内容	
5月28日	<評議員選任解任委員会> 第1号議案 新評議員の選任について
6月14日	<第三者委員会> 1. 第三者委員について 2. 令和2年度苦情相談内容報告
10月8日	<競争入札審査会> 第1号議案 協和苑ショートステイ増築工事設計監理業務委託業者の選定について

②法人本部会議／業務推進会議／その他検討事項（重要案件抜粋）

法人本部会議 業務推進会議 給食提供体制検討会議	年11回開催 年10回開催 年1回開催
検討項目	詳細(抜粋)
経営関係	収支状況について 令和2(2020)年度松阪市内社福経営状況について
新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス発生時の対応について 各種補助金／助成金の申請、受領について (⑤参照)
施設整備計画等	協和苑ショートステイ増築工事について 地方公益企業の事業譲渡プログラムへの参加の有無について
対外機関連携	みつばネットワーク「おてつだい」事業について みつばネットワーク「共同研修会」事業について 松阪市介護サービス事業者等連絡協議会の活動について

検討項目	詳 細（抜粋）
設備導入・修繕・契約関係	協和苑上水道漏水補修工事について 居宅 ICT 導入について 職員通用口自動ロックシステム導入について 産業廃棄物処理委託契約について 短期入所ナースコールシステム更新について 愛生苑自家発電機導入について 火災報知設備の更新について FAX 光回線化について 契約電力会社の変更について 居室床面特別清掃業務委託について 寝具類賃貸契約先変更について 壁掛エアコン洗浄業務委託について 各種補助金／助成金の申請、受領について（⑤参照）
職員人事・待遇・環境関係	人事・採用について 就業規則等関係規定変更について 高年齢就労者の働き方について 処遇改善特別調整手当（基準外）について ユニットリーダー選任方法について 介護職員処遇改善支援補助金の使途について 新型コロナウイルス蔓延時の特別休暇付与制度について
業務関係	令和 3（2021）年度介護保険制度改正について 中重度者ケア体制加算取得について 特定事業所加算取得について 栄養ケアマネジメント強化加算取得について 基準費用額（食費）の見直しについて センtralキッチン構想について おやつの外注について ホームページのリニューアルについて 次年度計画の策定について

③機関会議・主要行事等

＊人事委員会 ＊業務推進会議 ＊職員全体会議 ＊衛生委員会（労働安全衛生）	随時 月 1 回開催 年 3 回開催 書面資料 4/19 7/12 1/11 年 2 階開催
--	---

④採用/人事関係

・新規採用者

日付	事業所・職種	備考
4 月 1 日	協和苑：健康増進課・厨房職員	新規採用
4 月 1 日	協和苑：法人本部・パートタイム用務員	新規採用
4 月 16 日	協和苑：短期入所・パートタイム看護職員	新規採用
6 月 1 日	愛生苑：特養・介護職員	新規採用
6 月 1 日	愛生苑：特養・介護職員	新規採用
7 月 1 日	協和苑：短期入所・介護職員	新規採用
8 月 16 日	愛生苑：特養・パートタイム介護職員	雇用変更①
9 月 1 日	協和苑：通所介護・介護職員	新規採用
9 月 16 日	協和苑：健康増進課・厨房職員	新規採用②
10 月 1 日	愛生苑：特養・介護職員	新規採用
10 月 16 日	協和苑：短期入所・パートタイム介護職員	再々雇用③
1 月 14 日	協和苑：健康増進課・厨房職員	新規採用⑥
2 月 16 日	協和苑：短期入所・パートタイム看護職員	雇用変更⑦
3 月 16 日	協和苑：通所介護・フルタイム介護職員	再雇用④

・退職者

日付	事業所・職種	備考
4月11日	協和苑：短期入所・介護職員	一般退職
4月15日	協和苑：健康増進課・厨房職員	一般退職
5月15日	協和苑：法人本部・パートタイム用務員	一般退職
5月15日	愛生苑：特養・パートタイム看護職員	一般退職
7月15日	協和苑：健康増進課・厨房職員	一般退職
7月15日	協和苑：通所介護・介護職員	一般退職
8月15日	愛生苑：特養・介護職員	一般退職①
8月25日	愛生苑：特養・看護職員	一般退職
9月30日	協和苑：短期入所・パートタイム介護職員	一般退職
9月30日	愛生苑：特養・介護職員	一般退職
10月15日	協和苑：健康増進課・パートタイム厨房職員	一般退職
10月15日	協和苑：短期入所・パートタイム介護職員	再雇定年③
1月15日	協和苑：健康増進課・厨房職員	一般退職②
1月18日	協和苑：健康増進課・厨房職員	一般退職⑥
1月18日	協和苑：通所介護・パートタイム介護職員	一般退職
2月15日	協和苑：短気入所・看護職員	一般退職⑦
2月15日	愛生苑：特養・パートタイム介護職員	一般退職①
2月28日	協和苑：健康増進課・厨房職員	一般退職
3月15日	協和苑：短期入所・パートタイム介護職員	一般退職
3月15日	協和苑：通所介護・介護職員	定年退職④
3月31日	愛生苑：特養・管理者	一般退職

・人事異動他

日付	施設：事業所・職種〔()内：旧事業所・職種〕	備考
6月16日	協和苑：通所介護・所長/管理者（同事業・所長補佐）	新規登用
6月16日	協和苑：通所介護・所長補佐（同事業・生活相談員）	新規登用
6月16日	協和苑：通所介護・生相兼介護職員（同事業・介護職員）	職種変更
6月16日	愛生苑：特養・看護リーダー（同事業・看護職員）	新規登用
6月16日	協和苑：通所介護・フルタイム介護職員（愛生苑・フルタイム介護職員）	部署異動
8月16日	愛生苑：特養・ユニットリーダー（同事業・介護職員）	役職変更⑤
9月16日	愛生苑：特養・パートタイム看護職員（通所介護・パートタイム看護職員）	部署異動
10月16日	愛生苑：特養・介護職員（同事業・ユニットリーダー）	役職変更
12月16日	愛生苑：特養・介護職員（同事業・ユニットリーダー）	役職変更⑤
1月16日	愛生苑：特養・ユニットリーダー（同事業・介護職員）	役職変更
1月16日	愛生苑：特養・ユニットリーダー（同事業・介護職員）	役職変更

※①～⑦番号は同職員

⑤指定更新・変更届・体制届

種別※	実施日	事業所	内 容
更新届	4月1日	愛生苑：特別養護老人ホーム	指定更新（6年毎）
体制届	4月1日	協和苑：短期入所生活介護（予防含）	サービス体制強化加算Ⅲ
体制届	4月1日	協和苑：通所型サービス	サービス体制強化加算Ⅲ
体制届	4月1日	協和苑：通所介護	サービス体制強化加算Ⅲ
体制届	4月1日	愛生苑：特別養護老人ホーム	サービス体制強化加算Ⅲ
体制届	5月1日	協和苑：通所介護	中重度ケア体制強化加算
体制届	6月1日	協和苑：居宅介護支援事業	特定事業所加算Ⅲ
変更届	6月16日	協和苑：通所型サービス	管理者の変更
変更届	6月16日	協和苑：通所介護	管理者の変更
体制届	8月1日	愛生苑：特別養護老人ホーム	栄養マネジメント強化加算
変更届	3月1日	協和苑：通所型サービス	生活相談員の変更
変更届	3月1日	協和苑：通所介護	生活相談員の変更

※更新届・変更届：介護保険事業所指定に係る更新届出書・変更届出書

※体制届：介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書

IV. 年度末現在の施設状況

(1) 在宅複合型施設協和苑

①施設の概要

施設種別	在宅複合型施設	事業内容	法人本部事務所 短期入所事業：定員 30 名 通所介護事業：定員 40 名 居宅介護支援事業 在宅介護支援センター
運営主体	社会福祉法人三重高齢者福祉会		
所在地	松阪市上川町 3821 番 2		
敷地面積	1,177.69 m ²		
構造規模	鉄筋コンクリート鉄骨造瓦・鋼板葺 3 階建 1,687.91 m ² (1F 630.15 m ² 、 2F 643.99 m ² 、3F 413.77 m ²)		

②職員配置状況

男 15 人 女 35 人 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

施設長	1	総務職員	3	ケアマネジャー	3	看護職員	5
生活相談員	2	介護職員	25	栄養士	2	厨房職員	5
用務/運転手	1	配置医師	1	その他	2	合計	50

(2) 特別養護老人ホーム愛生苑

①施設の概要

施設種別	特別養護老ホーム	事業内容	ユニット型 介護老人福祉施設 ：定員 40 名
運営主体	社会福祉法人三重高齢者福祉会		
所在地	松阪市上川町 3461 番地 36, 37		
敷地面積	3,768.78 m ²		
構造規模	鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建 1,922.94 m ² (1 階 1,128.77 m ² 、2 階 794.17 m ²)		

②職員配置状況

男 6 人 女 26 人 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

施設長	1	生活相談員・CM	1	看護職員	3	介護職員	20
(管理)栄養士	3	厨房職員	3	嘱託医	1	合計	32

V. 各事業及部署年間状況報告

令和3年度(2021年度) 通所介護事業所協和苑 年間状況報告

項目\暦月	令和3年度(2021年度)												合計・平均	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
営業日数 利用日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	30日	30日	28日	31日	合計	363日
	758日	751日	755日	819日	809日	766日	755日	716日	693日	680日	247日	567日	合計	8,316日
	男性	176日	167日	165日	187日	173日	168日	147日	172日	156日	55日	136日	合計	1,899日
	女性	582日	584日	590日	632日	612日	587日	569日	521日	524日	192日	431日	合計	6,417日
1日平均利用者数	25.27人	24.23人	25.17人	26.42人	26.10人	25.53人	24.35人	23.87人	23.10人	22.67人	8.82人	18.29人	平均	22.91人
稼働率	63.17%	60.56%	62.92%	66.05%	65.24%	63.83%	60.89%	59.67%	57.75%	56.67%	22.05%	45.73%	平均	57.27%
利用人数	68人	68人	69人	70人	70人	68人	66人	66人	65人	67人	52人	50人	平均	64.92人
	男性	16人	14人	15人	17人	17人	14人	15人	15人	17人	13人	13人	平均	15.08人
1人あたり平均利用日数	52人	54人	54人	53人	53人	53人	52人	51人	50人	50人	39人	37人	平均	49.83人
曜日別 平均 利用者数 (昼間)	11.15日	11.04日	10.94日	11.70日	11.56日	11.26日	11.44日	10.85日	10.66日	10.15日	4.75日	11.34日	平均	10.57日
	月曜日	27.75人	27.40人	28.00人	29.25人	28.60人	26.25人	26.60人	26.00人	26.20人	9.00人	19.50人	平均	25.17人
	火曜日	25.00人	23.75人	25.60人	26.50人	25.80人	24.50人	24.80人	22.00人	23.00人	11.50人	22.40人	平均	23.36人
	水曜日	29.50人	26.50人	27.25人	29.00人	28.50人	27.75人	26.00人	24.80人	25.50人	11.75人	18.40人	平均	25.30人
	木曜日	24.60人	24.75人	27.75人	28.40人	28.25人	27.00人	27.50人	25.80人	24.75人	9.50人	21.20人	平均	24.83人
	金曜日	27.20人	25.25人	24.75人	24.80人	24.75人	22.40人	21.50人	20.00人	21.00人	7.00人	16.50人	平均	21.58人
	土曜日	23.25人	23.20人	23.50人	26.80人	27.25人	26.00人	23.25人	23.50人	21.50人	8.75人	19.50人	平均	22.66人
要介護状態別 利用者数	日曜日	19.25人	19.40人	19.50人	20.25人	20.40人	18.25人	16.50人	18.50人	17.60人	4.25人	8.75人	平均	16.72人
	要支援①	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1人	1人	0人	0人	平均	0.42人
	要支援②	1人	3人	3人	3人	3人	3人	2人	2人	2人	2人	2人	平均	2.25人
	要介護1	18人	19人	20人	21人	20人	19人	16人	16人	16人	11人	11人	平均	17.25人
	要介護2	18人	16人	16人	16人	16人	15人	17人	16人	17人	14人	12人	平均	15.75人
	要介護3	17人	17人	17人	15人	15人	15人	17人	17人	18人	14人	15人	平均	16.08人
	要介護4	13人	11人	10人	11人	12人	10人	9人	8人	8人	6人	6人	平均	9.42人
	要介護5	1人	2人	3人	4人	4人	4人	4人	5人	5人	5人	4人	平均	3.75人
	申請中	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	平均	0.00人
	※支援・申請中除く	2.42人	2.40人	2.39人	2.42人	2.46人	2.44人	2.41人	2.52人	2.52人	2.60人	2.58人	平均	2.46人
利用者 年齢構成	平均要介護度	2.42	2.40	2.39	2.42	2.46	2.44	2.41	2.52	2.52	2.60	2.58	平均	2.46
	～64歳	2人	2人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	平均	1.25人
	65～74歳	2人	3人	2人	3人	3人	3人	4人	5人	5人	3人	2人	平均	3.17人
	75～79歳	6人	6人	7人	7人	7人	6人	6人	5人	5人	4人	4人	平均	5.83人
	80～84歳	12人	12人	13人	13人	13人	13人	13人	13人	13人	9人	11人	平均	12.33人
	85～89歳	24人	23人	24人	24人	23人	23人	23人	22人	24人	18人	16人	平均	22.25人
	90～94歳	12人	13人	12人	13人	14人	14人	12人	12人	12人	11人	10人	平均	12.33人
居住地別 利用者数	95歳～	10人	9人	9人	9人	9人	7人	7人	7人	7人	6人	6人	平均	7.75人
	上川町	10人	12人	13人	14人	14人	13人	13人	13人	14人	11人	10人	平均	12.58人
	下村町	11人	12人	12人	11人	11人	10人	10人	10人	9人	9人	9人	平均	10.42人
	久保町	11人	10人	10人	10人	10人	9人	9人	8人	9人	9人	9人	平均	9.42人
	虹ヶ丘町	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	4人	4人	平均	4.83人
	垣鼻町	4人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	2人	2人	1人	2人	平均	2.67人
	大黒田町	1人	1人	1人	2人	2人	2人	2人	2人	1人	1人	1人	平均	1.50人
	その他	26人	25人	25人	25人	25人	23人	24人	25人	27人	17人	15人	平均	23.50人
	協和苑	38人	40人	41人	40人	39人	38人	38人	38人	40人	35人	31人	平均	38.08人
	社協(支所含)	4人	4人	4人	4人	4人	3人	3人	2人	2人	1人	1人	平均	3.00人
居宅別 利用者数	医師会	5人	4人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	2人	3人	平均	3.25人
	JA関係	7人	6人	5人	5人	6人	5人	5人	4人	4人	3人	3人	平均	4.83人
	桜木記念病院	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	平均	0.00人
	緑風苑	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	平均	0.00人
	その他	14人	14人	15人	18人	18人	17人	17人	18人	18人	11人	12人	平均	15.75人

令和3年度(2021年度)短期入所生活介護事業所協和苑 年間状況報告

項目\暦月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計・平均	
利用日数	営業日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	合計	平均
	全体	879日	887日	843日	889日	887日	882日	852日	840日	877日	896日	485日	783日	合計	365日
利用日別	男性	229日	221日	202日	196日	200日	202日	221日	219日	206日	197日	111日	147日	合計	9,943日
	女性	650日	666日	641日	693日	687日	623日	631日	621日	671日	699日	374日	636日	合計	2,351日
1日平均利用者数	利用者数	29.30人	28.61人	28.10人	28.68人	28.61人	27.50人	27.48人	27.50人	28.29人	28.90人	17.32人	25.26人	平均	7,592人
	稼働率	97.67%	95.38%	93.67%	95.59%	95.38%	91.67%	91.61%	93.33%	94.30%	96.34%	57.74%	84.19%	平均	90.80%
利用人数	全体	54人	51人	48人	48人	50人	45人	46人	50人	52人	52人	35人	48人	平均	48.25人
	男性	15人	13人	12人	11人	12人	11人	12人	13人	11人	10人	7人	7人	平均	11.17人
1人あたり平均利用日数	女性	39人	38人	36人	37人	38人	34人	34人	37人	41人	42人	28人	41人	平均	37.08人
	月曜日	16.28日	17.39日	17.56日	18.52日	17.74日	18.33日	18.52日	16.80日	16.87日	17.23日	13.86日	16.31日	平均	17.12日
曜日別	火曜日	29.00人	29.20人	28.75人	28.25人	28.20人	27.75人	27.50人	28.00人	28.75人	29.80人	16.50人	24.25人	平均	27.16人
	水曜日	29.75人	28.25人	27.80人	28.75人	28.40人	28.00人	26.75人	28.00人	28.00人	29.25人	19.25人	25.20人	平均	27.28人
利用者数(昼間)	木曜日	29.00人	28.75人	28.00人	29.25人	29.50人	27.60人	27.75人	27.50人	28.40人	29.25人	18.50人	24.40人	平均	27.33人
	金曜日	28.60人	28.00人	27.75人	28.00人	28.00人	27.20人	28.00人	28.00人	27.80人	28.50人	17.25人	25.40人	平均	26.96人
(夜間)	土曜日	29.60人	29.25人	28.50人	29.20人	29.25人	28.25人	28.00人	28.75人	28.20人	29.25人	17.00人	27.00人	平均	27.69人
	日曜日	29.25人	28.00人	27.25人	28.40人	27.50人	26.00人	27.20人	28.25人	28.50人	27.80人	16.50人	25.25人	平均	26.66人
曜日別	月曜日	30.00人	28.80人	28.75人	29.00人	28.60人	27.75人	27.20人	27.50人	28.50人	28.60人	16.25人	25.25人	平均	27.18人
	火曜日	24.25人	24.60人	23.75人	23.50人	23.20人	24.00人	23.75人	24.40人	23.75人	26.00人	16.00人	21.50人	平均	23.23人
利用者数(夜間)	水曜日	27.00人	26.50人	25.40人	26.00人	25.40人	25.00人	24.00人	25.00人	24.75人	24.75人	17.75人	21.60人	平均	24.43人
	木曜日	27.25人	26.50人	26.60人	27.25人	27.25人	26.00人	26.00人	26.00人	26.40人	27.50人	17.00人	24.00人	平均	25.65人
要介護状態別利用者数	要介護1	25.80人	25.75人	25.50人	25.80人	27.00人	25.00人	25.75人	25.75人	25.80人	26.00人	16.50人	23.80人	平均	24.87人
	要介護2	25.80人	26.00人	24.25人	24.80人	24.75人	23.50人	24.00人	25.50人	24.40人	24.75人	16.00人	23.75人	平均	23.96人
要介護3	要介護4	25.25人	24.40人	24.00人	23.80人	24.25人	23.25人	23.00人	22.75人	24.75人	25.00人	16.00人	23.25人	平均	23.31人
	要介護5	26.50人	26.80人	26.25人	26.75人	26.40人	26.00人	24.40人	24.75人	25.00人	26.00人	15.00人	22.75人	平均	24.72人
申請中	要支援①	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	平均	0.00人
	要支援②	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	0人	平均	0.42人
平均要介護度	要介護1	4人	4人	4人	4人	4人	6人	5人	6人	7人	7人	4人	6人	平均	5.08人
	要介護2	12人	12人	11人	10人	10人	8人	9人	11人	11人	10人	4人	9人	平均	9.75人
利用者年齢構成	要介護3	18人	18人	16人	17人	19人	15人	16人	15人	15人	16人	15人	15人	平均	16.25人
	要介護4	14人	12人	12人	12人	12人	11人	11人	15人	15人	17人	11人	16人	平均	13.17人
※支援・申請中除く	要介護5	5人	5人	5人	5人	5人	4人	4人	3人	4人	2人	1人	2人	平均	3.75人
	申請中	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	平均	0.00人
利用者	65歳以下	3.08人	3.04人	3.06人	3.08人	3.08人	2.98人	3.00人	2.96人	2.96人	2.94人	3.03人	2.98人	平均	3.02人
	65～74歳	1人	1人	2人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	平均	0.42人
利用者年齢構成	75～79歳	4人	4人	3人	4人	4人	3人	3人	3人	2人	2人	1人	2人	平均	2.92人
	80～84歳	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	2人	平均	0.75人
居住地域別利用者数	85～89歳	7人	5人	7人	4人	3人	4人	5人	5人	8人	7人	6人	8人	平均	5.75人
	90～94歳	21人	22人	20人	22人	21人	21人	20人	20人	21人	22人	13人	19人	平均	20.17人
居住地域別利用者数	95歳～	14人	12人	11人	11人	15人	12人	12人	15人	14人	14人	9人	10人	平均	12.42人
	上川町	6人	6人	4人	5人	6人	4人	5人	7人	6人	7人	6人	7人	平均	5.75人
居住地域別利用者数	下村町	3人	3人	4人	2人	2人	2人	3人	3人	4人	4人	4人	7人	平均	3.42人
	久保町	2人	2人	1人	2人	3人	1人	1人	1人	2人	1人	0人	1人	平均	1.42人
居住地域別利用者数	虹ヶ丘町	7人	5人	5人	5人	6人	4人	3人	5人	4人	5人	3人	5人	平均	4.75人
	垣島町	2人	2人	2人	3人	0人	3人	4人	4人	4人	3人	0人	0人	平均	2.58人
居住地域別利用者数	大黒田町	1人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	平均	0.33人
	その他	4人	4人	4人	4人	4人	3人	3人	5人	5人	5人	4人	4人	平均	4.08人
居住地域別利用者数	協和苑	35人	34人	31人	32人	31人	31人	32人	32人	33人	34人	24人	31人	平均	31.67人
	社協(支所含)	12人	11人	12人	10人	14人	10人	11人	12人	13人	11人	8人	11人	平均	11.25人
居住地域別利用者数	医師会	3人	2人	1人	3人	4人	2人	2人	3人	4人	4人	1人	1人	平均	2.50人
	JA関係	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1人	0人	0人	0人	平均	0.33人
居住地域別利用者数	緑風苑	5人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	4人	3人	1人	4人	平均	3.17人
	東部さわやか	0人	0人	1人	0人	1人	1人	1人	2人	3人	2人	1人	2人	平均	1.17人
居住地域別利用者数	その他	3人	3人	2人	2人	1人	1人	2人	2人	2人	4人	1人	2人	平均	2.08人
	その他	30人	32人	29人	30人	27人	28人	26人	27人	25人	28人	23人	28人	平均	27.75人

令和3年度(2021年度) 特別養護老人ホーム愛生苑 年間状況報告

項目\暦月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計・平均
新規入苑者	全体	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	合計 3人
	男性	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	合計 1人
	女性	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	合計 2人
入苑前 生活状況	自宅	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	合計 0人
	介護施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	合計 0人
	病院	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	合計 0人
	その他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	合計 0人
	全体	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	合計 4人
退苑者	男性	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	合計 3人
	女性	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	合計 1人
	死亡	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	合計 3人
退苑事由	長期入院	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	合計 1人
	施設異動	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	合計 0人
	自宅復帰	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	合計 0人
営業日数		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	合計 365日
欠員日数		0日	0日	55日	6日	0日	0日	0日	11日	59日	31日	28日	31日	合計 221日
外泊・入院日数		0日	0日	0日	17日	24日	50日	20日	29日	0日	0日	16日	0日	合計 156日
入苑者延日数		1,200日	1,240日	1,145日	1,217日	1,216日	1,150日	1,220日	1,160日	1,181日	1,209日	1,076日	1,209日	合計 14,223日
1日平均利用者数		40.00	40.00	38.17	39.26	39.23	38.33	39.35	38.67	38.10	39.00	38.43	39.00	合計 38.97人
稼働率		100.00%	100.00%	95.42%	98.15%	98.06%	95.93%	98.39%	96.67%	95.24%	97.50%	96.07%	97.50%	合計 97.42%
要介護状態別 利用者数	要介護1	人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	平均 0.00人
	要介護2	人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	平均 0.00人
	要介護3	7人	7人	7人	7人	6人	6人	5人	5人	5人	5人	5人	4人	平均 5.75人
	要介護4	22人	22人	23人	23人	24人	24人	25人	26人	25人	24人	24人	25人	平均 23.92人
	要介護5	11人	11人	11人	10人	10人	10人	10人	9人	9人	10人	10人	10人	平均 10.08人
	申請中	人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	平均 0.00人
※受養・申請中除く														
負担段階区分	平均要介護度	4.10	4.10	4.10	4.08	4.10	4.10	4.13	4.10	4.10	4.13	4.13	4.15	平均 4.11
	第4段階	10人	10人	10人	9人	17人	16人	16人	16人	17人	17人	17人	16人	
	第3段階②	18人	18人	19人	19人	7人	8人	8人	8人	7人	7人	7人	7人	
	第3段階①	19人	19人	20人	20人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	
	第2段階	11人	11人	11人	11人	9人	9人	9人	9人	8人	8人	8人	9人	
	第1段階	人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入苑者 年齢構成	～64歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	65～74歳	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	
	75～79歳	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	1人	1人	
	80～84歳	4人	4人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	3人	3人	4人	4人	
	85～89歳	5人	5人	5人	5人	5人	5人	4人	4人	5人	5人	5人	5人	
	90～94歳	15人	15人	15人	14人	14人	14人	15人	15人	15人	15人	15人	15人	
	95歳～	13人	13人	13人	13人	13人	13人	13人	13人	13人	13人	13人	13人	
最年少		68歳	68歳	68歳	68歳	68歳	68歳	68歳	68歳	68歳	68歳	69歳	69歳	
最年長		104歳	104歳	104歳	104歳	104歳	104歳	104歳	105歳	105歳	105歳	105歳	105歳	
入苑期間	～11ヶ月	7人	7人	7人	6人	6人	6人	5人	5人	4人	4人	4人	3人	
	12～35ヶ月	15人	14人	14人	16人	14人	13人	14人	12人	12人	12人	12人	12人	
	36～47ヶ月	5人	6人	5人	5人	7人	7人	7人	6人	7人	7人	6人	7人	
	48～59ヶ月	2人	2人	2人	2人	2人	3人	3人	4人	5人	5人	6人	6人	
	60～71ヶ月	2人	2人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	2人	1人	
平均入苑期間		39ヶ月	40ヶ月	39ヶ月	39ヶ月	40ヶ月	41ヶ月	42ヶ月	44ヶ月	44ヶ月	45ヶ月	46ヶ月	47ヶ月	

令和3年度(2021年度) 社会福祉法人三重高齢者福祉社会健康増進部 年間状況報告

項目／暦月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計・平均	
	利用者 朝食 その他 計	1,169食 31食 1,199食 1,138食 30食 1,198食	1,201食 31食 1,232食 1,169食 31食 1,224食	1,111食 30食 1,141食 1,082食 21食 1,133食	1,184食 31食 1,215食 1,153食 19食 1,203食	1,182食 31食 1,213食 1,152食 25食 1,208食	1,119食 30食 1,149食 1,090食 30食 1,141食	1,186食 31食 1,217食 1,156食 20食 1,207食	1,140食 30食 1,170食 1,108食 19食 1,157食	1,182食 31食 1,213食 1,152食 20食 1,203食	1,209食 31食 1,240食 1,178食 22食 1,231食	1,075食 28食 1,103食 1,048食 20食 1,096食	1,209食 31食 1,240食 1,177食 2食 1,210食	合計 13,967食 365食 14,332食 13,603食 243食 14,211食
愛生苑 給食件数	利用者 朝食 職員食 その他 計	1,169食 30食 1,199食 754食	1,200食 31食 1,231食 745食	1,112食 30食 1,142食 750食	1,184食 31食 1,215食 815食	1,183食 31食 1,214食 806食	1,119食 30食 1,149食 765食	1,187食 31食 1,218食 751食	1,140食 30食 1,170食 714食	1,183食 31食 1,214食 688食	1,209食 31食 1,240食 675食	1,075食 28食 1,103食 244食	1,208食 31食 1,239食 566食	合計 13,969食 365食 14,334食 8,273食 0食 0食 0食
	利用者 朝食 職員食 その他 計	754食	745食	750食	815食	806食	765食	751食	714食	688食	675食	244食	566食	合計 8,273食 8,079食 998食 8,887食 365食 0食
	おやつ	105食	113食	94食	88食	89食	81食	85食	84食	80食	84食	47食	51食	合計 8,079食
	夕弁当	780食	797食	756食	788食	788食	740食	756食	744食	774食	791食	467食	706食	合計 998食
	利用者 朝食 職員食 その他 計	810食 866食 30食 806食 778食 30食 808食 11食	828食 879食 31食 910食 798食 31食 829食 878食	786食 837食 30食 867食 756食 30食 786食 842食	819食 878食 31食 909食 785食 31食 816食 885食	819食 884食 31食 915食 788食 31食 819食 884食	770食 819食 30食 849食 743食 30食 773食 824食	787食 844食 31食 875食 755食 31食 786食 848食	774食 825食 30食 855食 746食 30食 776食 820食	805食 864食 31食 895食 775食 31食 806食 850食	822食 879食 31食 910食 797食 31食 828食 889食	495食 478食 28食 506食 458食 28食 486食 467食	737食 773食 31食 804食 712食 31食 743食 773食	合計 9,252食 9,826食 365食 0食 10,191食 8,891食 365食 0食 9,256食 9,830食 44食
協和苑 (短期入所) 給食件数	利用者 朝食 職員食 その他 計	810食 866食 30食 806食 778食 30食 808食 11食	828食 879食 31食 910食 798食 31食 829食 878食	786食 837食 30食 867食 756食 30食 786食 842食	819食 878食 31食 909食 785食 31食 816食 885食	819食 884食 31食 915食 788食 31食 819食 884食	770食 819食 30食 849食 743食 30食 773食 824食	787食 844食 31食 875食 755食 31食 786食 848食	774食 825食 30食 855食 746食 30食 776食 820食	805食 864食 31食 895食 775食 31食 806食 850食	822食 879食 31食 910食 797食 31食 828食 889食	495食 478食 28食 506食 458食 28食 486食 467食	737食 773食 31食 804食 712食 31食 743食 773食	合計 9,252食 9,826食 365食 0食 10,191食 8,891食 365食 0食 9,256食 9,830食 44食

令和3年度（2021年度）在宅複合型施設 協和苑 事業報告書

I. 在宅複合型施設協和苑全体報告

1. 一年間の動き

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一年

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年度でした。4月は第4波、7月には第5波、1月からは第6波と流行が断続的に続きました。特に、第6波については、2月に協和苑で利用者や職員に感染者が同時多発的に発生し、施設挙げての感染対応に追われるとともに、経営に大きな影を落とすことになりました。収束には1ヵ月近い期間を要し、その間、通所介護や短期入所生活介護は利用制限や営業見合わせを行わざるを得ない状況となりました。収束後は、短期入所生活介護事業はニーズが高いことから、翌月以降の稼働率は通常に近いものに回復しましたが、通所介護事業は営業自粛期間にサービス停止を回避するため、他事業所を併用または移行される利用者もあり、翌月以降も稼働率の回復は鈍化することとなりました。この傾向は次年度以降も続くことを予想しています。利用者の出入りが多い居宅サービス事業体における、新型コロナウイルスの影響の強さを改めて認識する結果となりました。また、感染者が多数発生した2月は、日本全国でこれまでに経験したことが無い感染者数が出たこともあり、自治体や行政機関の機能は麻痺状態でありました。批判するわけではなく、かえって、有事には不測の事態や想定を超えることが起こり得ること、自分たちで事業を継続していく為の、あらゆる手段を用意しておかなければならないと考える良い機会となりました。

営業自粛期間には、自宅で過ごされる利用者もみえましたが、利用再開時には、ADLが明らかに低下するなどフレイルを起こしている方もみえ、普段のサービスが如何に利用者の機能維持に良い影響を及ぼすことを再認識することが出来ました。

[感染者が多数発生した2月と収束後3月の稼働状況]

	通所介護			短期入所生活介護		
	前年2月	2月	3月	前年2月	本年2月	3月
延べ利用者	726人	246人	567人	824	485人	785人
1日平均利用者	25.9人	8.8人	18.3人	29.4%	17.3人	25.3人
稼働率	64.8%	22.1%	45.7%	98.1%	57.7%	84.4%

コロナ禍は、集団活動が抑制されることとなり、ボランティアや学校関係、利用者ご家族等との関わりが希薄になります。リスクは高くなりますが、社会生活の質を担保するため、面会や外出、地域とのふれあいなど、出来る範囲で、関係継続に努めてきました。一方、これまでの集団活動や対外活動の中での無駄も顕在化し、オンラインの活用など、コロナ禍により業務の簡素化が図れた事案もあります。このように新型コロナウイルス感染症の影響により経営はもとより、事業運営にも大きく影響することを実感することになりました。

本年度は新型コロナウイルス感染発生を経験することになりましたが、私たち職員は献身的に対応し、互いに励まし、協力しながら、時には苦しい状況の中でも前向きに業務にあたることが出来ました。協和苑の職員個々の意識の高さ、社会的使命感の強さを改めて認識することとなりました。

(2) 協和苑各事業共通報告

① 新型コロナウイルス感染症の対応

[短期入所生活介護事業]

2月2日	利用者2名、職員1名発生。最終、利用者11名、職員7名
2月24日	通常営業開始
対応等	ゾーニング、利用者職員抗原検査、苑内療養対応、健康観察、通院介助

[通所介護事業]

2月12日	利用者1名、職員1名発生。最終、利用者7名、職員4名
3月1日	通常営業開始
対応等	ゾーニング、利用者職員抗原検査、健康観察、訪問（介護、状態確認）

[その他新型コロナウイルス感染症対応]

協和苑における主な新型コロナ感染症対策
・ 県外（感染拡大地域）への移動・接触の自粛協力要請（利用者・利用者家族・職員） ・ 面会制限（有症状者等の面会禁止・検温・県外（感染拡大地域）者自粛協力要請） ・ ONLINE 面会（ZOOM）実施 ・ 3 密回避業務の実施（ディフロア・会議縮小・対外会議 ONLINE 化） ・ 利用者・職員相談窓口の設置 ・ 特別休業制度増設（自己資金）、小学校等休業に伴う特別休暇の増設（助成金の活用） ・ 利用時の検温・送迎車両消毒・施設内消毒等の実施 ・ マスク等衛生用品の備蓄 ・ JKA 新型コロナ感染症拡大防止策補助金（サーモセンサー、手指消毒器、非接触体温計他） ・ 三重県感染防止対策支援補助金（消耗備品購入費） ・ 感染流行下サービス提供体制確保事業補助金（療養者対応費用、感染者対応消耗品他）

②デジタル機器やソーシャルメディアを活用した近代的介護の実現

令和元年度の短期入所生活介護事業、令和2年度の通所介護事業に引き続き、令和3年度は居宅介護支援事業でのICT機器導入についても補助金を活用し整備しました。記録システム（タブレット）を導入し、訪問先でのケアプランの入力や、印刷ができることとなり、業務の効率化と簡素化を図ることが出来ました。また、介護現場での業務負担の軽減、利用者の安全配慮の向上を図るため、介護ロボット（介護ベッド）の導入を計画しましたが、補助金が不採択となったため、次年度の導入を目指し計画を継続しています。

情報化社会に対応するため、ホームページを刷新し、地域社会への情報開示に進めています。また、職員間の情報共有を適時行えるようアプリを活用した連絡網の整備と運用を進めるとともに、オンライン会議システムを導入し、会議や内部研修会に負担なく参加できるよう体制整備を図りました。

③組織・職員関係

令和2年度に計画した業務推進計画に基づき、10月には新組織に順応した就業規則（給与規程）を施行しました。通所介護事業では6月に新たな管理者、兼務相談員を登用し、組織の強化を図ることが出来ました。各部署では慢性的な職員不足が続いていますが、相互協力と業務の効率化、簡素化を図りサービス提供を行っています。介護業界では処遇改善金の定着と感染症リスクの高い介護業界を忌避するきらいも影響し、人の移動が消極的になっていることも考えられ、新たな採用が極めて難しくなっています。少子化が進む日本において、新たな人材確保を資するための大きな転換期に差ししかかっており、新しい時代に対応した人材確保対策を急がなければなりません。

④経営課題

新型コロナウイルス感染症の影響は前述のとおりですが、この影響で年間の収益が消えてしまいました。協和苑はこれまでの貯蓄がありますので、経営に大きな影響はありませんが、今後も新型コロナウイルス感染症が発生し、収益を確保できない状況も想定しなければなりません。感染症防止に努め、感染症発生時には的確に対応し傷を最小限にするためにも、今一度、今回の経験を活かし、事業継続計画の策定を練っていく必要があります。また、収支構造を見直し、余剰金を積み上げ、事業継続力を強化することが急務です。そのためにも、既存事業の収支効率改善のための、増改築計画は将来に向けた重要なミッションであり必ず実現しなければなりません。世界的な新型コロナウイルス感染症やウクライナ、ロシア紛争を端に発した世界的情勢不安による建築資材や燃料の高騰は長期化しますが、工夫を重ね次年度には具現化できるよう努めていきます。

(3) 協和苑年間活動・状況報告

①年間状況報告

介護サービス・介護予防サービス	令和3年度利用状況
通所介護事業（第1号通所型事業含）	※1日平均 22.9人（前年比 95.3%）
短期入所生活介護事業（介護予防含）	※1日平均 27.2人（前年比 95.3%）
居宅介護支援事業（介護予防ケアマネジメント含）	※月平均 100.8件（前年比 102.0%）

※「年間状況報告」資料参照

②行事・会議等開催及び各種団体行動報告

【法人内合同会議・協和苑内会議等】

会議等名	年間回数	会議等名	年間回数
法人本部会議	計 11 回	居宅介護支援事業定例会議	計 52 回
職員全体会議（資料時配布含）	計 4 回	健康増進課会議	計 2 回
業務推進会議	計 10 回	衛生委員会	計 2 回
通所介護事業所会議	計 12 回		
短期入所生活介護事業所会議	計 12 回		

③協和苑内外行事等実施報告

行事等名	実施日	詳細
協和苑夏祭り	8月14～16、8月20日	（苑内行事）
消防総合訓練	11月19日、3月31日	（苑内行事）
徳和小学校見学	10月26日 11月2, 4, 5日	徳和小学校3年生 60名
協和苑文化祭	11月21～27日	（苑内行事）
苑内研修①（みつば NET3 法人共同）	1月22日	内容「看取り」
苑内研修②（みつば NET3 法人共同）	2月26日	内容「ACP」
苑内研修③（みつば NET3 法人共同）	3月27日	内容「終末期の薬」

Ⅱ. 施設内各事業及び部署の活動報告

1. 令和3年度（2021年度）通所介護 事業[通所型サービス含] 事業報告

【めざすもの】	重度化の受け入れに向けて ～職員の連携で安心・安全な介護の実践～
【業務目標】	① より利用者様の背景に合わせたサービスを提供する ② 個々のケアプランに沿ったサービスの実践 ③ 事故防止に努め安全で快適なサービスを提供する ④ 心をのせ、笑顔で接する介護の提供

【取組内容振り返り】

(1) より利用者様の背景に合わせたサービスを提供する

- ①利用者様や家族が求めている介護、看護と介護士、看護師の対応に少しずれがあった。
- ②家族はそこまで求めている、少し負担に感じていることもあったように思う。
- ③個々の利用者に取り巻く環境まで配慮した対応はできていたかは疑問である。
- ④ベッドまでの送迎、電気、ガス、服薬確認と細やかなサービスは出来ていた。

(2) 個々のケアプランに沿ったサービスの実践

- ①ADLの低下や認知症の進行等、目に見えて重度化は顕著でした。
- ②人によって指示や対応が違っていても多々あった為その辺りの統一が必要です。
- ③（スキルの向上）もただ示しただけでスキルを上げる機会や方法もあまり作られてなかった。
- ④ケアプランに沿った記録も少なかった為、記録の仕方も示していきたい。

(3) 事故防止に努め安全で快適なサービスを提供する

- ①職員間の連携がおろそかによるヒヤリハット、事故報告があった。
- ②サービスの統一やスキルには、個人差が大きくみられた。
- ③人任せにし、自分から積極的に仕事に取り組まない姿がみられた。
- ④資質向上の為、もっと職員間で連携し誰でも同じサービスが出来るよう取り組む必要がある。
- ⑤学びの気持ちを持ち、謙虚に意見を聞く姿勢を持つ事が必要である。
- ⑥自分の仕事重視になり、目が届かず、おやつ後、緊張感が欠如し安易に、気を付けていく。

(4) 心をのせ、笑顔で接する介護の提供

- ①忙しい業務の中、全員に声掛けは難しい時がある。
- ②〇〇ちゃんと利用者様に声掛けする（看護師）場面が見られたため廃止に取り組んでいく。
- ③喜んで頂ける雰囲気も大事で、職員同士の発言による否定的な空気はさけたい。
- ④コロナ禍で、制限があり楽しみが減少する中で、様々なゲームに工夫を凝らして提供できた。

【行事内容】

月	内容	詳 細
4月	花見散歩	桜の下で写真を撮ったコピー用紙のため写真が品粗だった。
5月	母の日会	カーネーションを全員に配る。自身の母（自身がどんな母）の思い出を語って頂く。最後に「お母さん」の歌をうたって盛り上がった。
6月	父の日会	タオルハンカチを全員に配る。父の日のエピソードを聞く。
7月	七夕	短冊に願い事を書いて頂き読み上げ披露する。ボランティアのハーモニカ演奏をして頂く。
8月	夏祭り	「御神輿」、「盆踊り」、「魚釣り」、「お祭りマンボ踊り」、「くじ引き」早く終わりそうな為、YouTube で花火大会を見て頂く。終了時間を厨房に伝えなかった為、おやつが遅くなった。
9月	敬老会	「職員かくし芸大会」、「サックス（ボランティア）」、「歌謡ショー（ボランティア）」 かくし芸の罰ゲームの墨汁が口にはいったが、職員のため問題はなかった。変装眼鏡も利用者様に付けてもらったり盛り上がった。
10月	運動会	「玉入れ」、「応援合戦」、「借り物競争」、「グーパー体操」、「組体操（コップ積み）」、「フォークダンス」、「リレー」 準備が遅くなったが、利用者様には喜んで頂いた。
11月	文化祭	「歌謡ショー（ボランティア）」、「音楽療法」、「サックス（ボランティア）」、「お笑い番組鑑賞」 事前に用意したマスクケースを全員に配布する。使い勝手がよいと喜んでいただけた。ショート合同のカラオケ大会に変更することもあり喜んで頂けた。
12月	クリスマス会	プレゼントを配り皆で歌を歌う。新しくサンタの衣装を購入し飾りつけも増やして雰囲気を楽しんで頂けたと思う。
1月	正月行事	「フライング福笑い」コロナ禍対策としてフライング福笑いにした。出来上がりの顔が皆で見ることが出来ずもう少し工夫が必要だった。
2月	節分	「鬼は外ゲーム」職員の誘導と倒れたものを戻すのに人手が足りなかった。待っている間には、恵方巻を作っていました。
3月	ひな祭り	「奪えひな人形ゲーム」初回ゲームの攻勢がうまくいかず、ルール変更して楽しく時間も程よく終わることができた。

2. 令和3年度（2021年度）短期入所生活介護事業【予防含】 事業報告

(1) 業務目標の達成状況

①ICT技術の活用領域を拡大する

②ICT技術を活用し、他事業所との連携を深める

【実施内容】

- 連絡網アプリの導入（らくらく連絡網、導入したのは法人全体）
- ブラウザアプリ（主にカレンダー、オンラインストレージ機能）の活用により、部内のスケジュールや各種資料（マニュアル、通知等）を管理

【成果】

- 上記の取り組みにより、総じてペーパーレス化が進んだ
- 情報をデジタル化し、インターネットを通じて情報を発信することで、情報の作成、通知、共有に関する作業が大幅に効率化、簡略化した

【課題】

- 職員間の各デバイス等の取り扱いの習熟度により、デジタル化の恩恵に差がでてしまう
- 情報の共有に関しては、各職員が個人で所有しているデバイスに依存している（そもそもデバイスを持っていない職員も存在する＝ネットワークの輪に加われない）

【今後の展開】

- 各種会議をはじめ、職員間の直接的なコミュニケーションについてもICT化（オンライン化）を実施したい
- 職員間だけでなく、利用者（利用者家族）、各種関係機関（他事業所）とのコミュニケーションにもEメールや連絡網アプリを活用したい

③感染対策の見直し、徹底

【実施内容】

- 新型コロナウイルスに対する感染防止、感染発生後の体制整備
- その他、感染症（薬剤耐性菌、C型肝炎等）に対する感染防止対策整備

【成果】

- 新型コロナウイルスに対する平時の感染防止体制、感染発生時の体制（特に初動体制）についての整備（整理）が進んだ
- 新型コロナウイルスに対する体制を整備するなかで、感染症全般に対する体制も同時に整理できた

【課題】

- 「成果」の項に記したものは、実際に事業所内で新型コロナウイルス感染が発生したことで”強制的”に体制のアップデートを強いられた結果
- 新型コロナウイルスに対する体制が予め整備できていたわけではなく、事業所内で感染が発生した場合の影響について過小評価していた
- 新型コロナウイルスへの対応を通じて、現状如何ともし難い構造上の弱点が浮かびあがった（詳細は下記）
- ゾーニングが多床室単位（2～4人）でしか実施できず、結果として新たな感染者を生み出させる原因となった
- 業務上不可欠な設備（浴室、EV等）が事業所間（短期&通所）の共有スペースとなっており、感染の影響が事業所を跨いで拡散してしまう
- 事業所内の共有スペース（2Fホール、職員休憩室）の面積が狭く、食事時等に”密”な状態になってしまう
- 外部への情報伝達方法が電話しか存在せず、状況の説明等に膨大な労力が必要

【課題（つづき）】

- 感染等により業務に従事できる職員が確保できない場合の事業所間の連携
- 利用者により主治医が異なるため、感染（感染の疑い）した場合の対応方法を統一できない
- 感染が発生した際の経営的な影響（利用者数の減少による収入減）が甚大（特に通所）なため、ゾーニングを徹底したいが前述の理由でできない
- マニュアル整備等、感染防止体制の言語化が間に合っていない

【今後の展開】

- 新型コロナ感染に対応した経験を言語化し、今後の体制整備に活かす
- 施設整備（増設）計画に感染対策を盛り込む

④社会のニーズに即した技術の習得

【実施内容】

- 職員に対する資格取得のためのサポート（勤務調整、学習方法の相談等）
- 動画サイト等を活用した勉強会の実施
- 勉強会の内容を介護現場のニーズに即したものにする

【成果】

- 勤務を続けながら、無理なく資格を取得するための体制をある程度構築できた
- コロナ禍の中で、ICT 技術やインターネットを活用しながら学習する機会をある程度確保できた

【課題】

- 慢性的に人員が不足気味なため、資格取得を目指す職員へのサポートに限界がある
- 資格取得に向けての学習方法等についてのサポート体制が不十分
- 動画サイト等を使用した勉強会は便利（いつでもどこでも視聴できる）だが、それだけでは職員の参加意欲を喚起するところまでつながらない
- 職員の自宅環境（デバイスの有無、ネットワーク環境）により、参加そのものに制限がかかる

【今後の展開】

- 個人の（自宅の）環境に囚われず、学習の機会が得られるような環境を整備したい
- オンライン会議のシステムを勉強会でも活用したい

(2) 新型コロナウイルスの感染状況/対応状況

①2月2日発生 協和苑 “第1波”

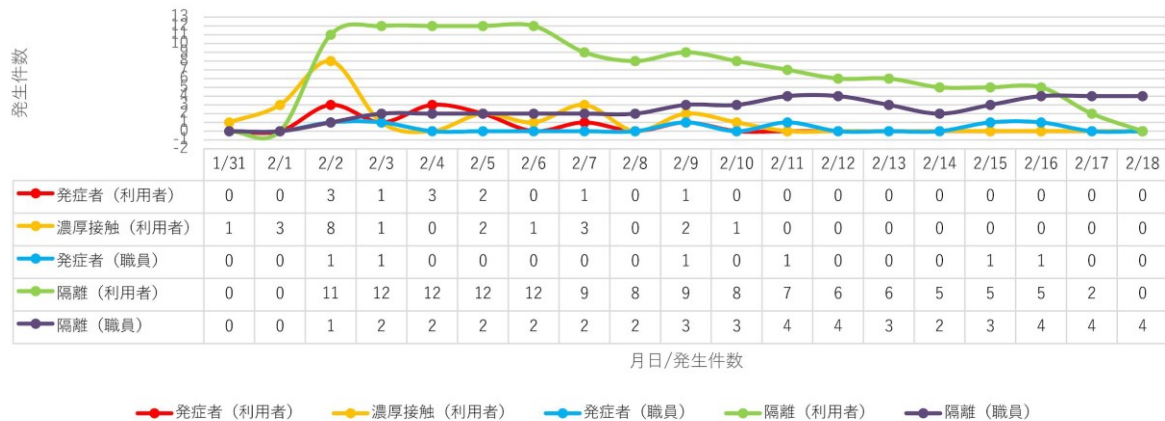
【経過】

- 2/2、帰宅した利用者より、陽性反応確認。隔離対応開始。複数利用者の感染を確認。職員からも感染確認（出勤停止）。また、利用者の新規受け入れを一時停止。
- 2/3～2/5、発熱ある利用者について順次 PCR 検査を実施。救急搬送後、入院となる利用者相次ぐ。
- 2/9～2/16、感染利用者の対応をしていた職員が相次いで感染。
- 2/18、すべての陽性者/濃厚接触者の隔離対応が解除となる。
- 2/24、利用者の通常受け入れ再開。

【協和苑 “第1波” 感染状況（概要）】

概 要	陽性者	入院	宿泊療養	自宅/施設療養	死亡	退院/完治
利用者	11	9	0	2	0	7
職 員	6	1	1	4	0	3
合 計	17	10	1	6	0	10

【第1波】感染状況（経過）



※「隔離（職員）」＝出勤停止状態の職員数

②3月30日発生 協和苑 “第2波”

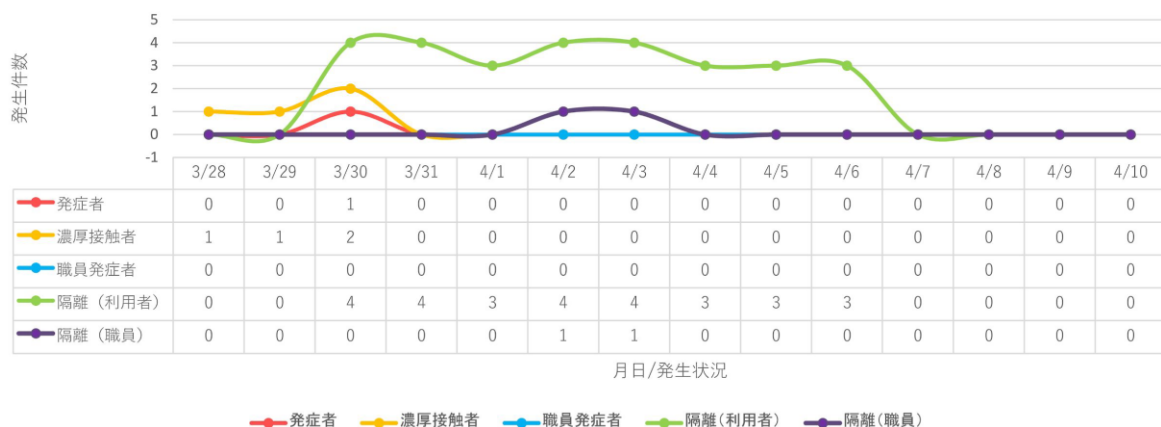
【経過】

- 3/30、利用者家族より新型コロナ感染の報告あり。3/28の受診時に対象利用者と濃厚接触の可能性あるため隔離開始。同時に、対象利用者と同室だった利用者3名も隔離開始。
- 3/31、隔離中の利用者から新型コロナ陽性反応あり。対象利用者は帰宅となるが、同時に保健所に対して入院要請をする。
- 4/1、対象利用者に入院の許可降りる。同日、入院。
- 4/7、濃厚接触者3名の隔離解除（隔離中、発熱等の発症なし。抗原検査陰性確認後解除）。
- 4/9、新型コロナ陽性のため入院していた利用者が退院（再度ショート利用）。

【協和苑 “第2波” 感染状況（概要）】

概要	陽性者	入院	宿泊療養	自宅/施設療養	死亡	退院/完治
利用者	1	1	0	0	0	1
職員	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	0	0	0	1

【第2波】感染状況（経過）

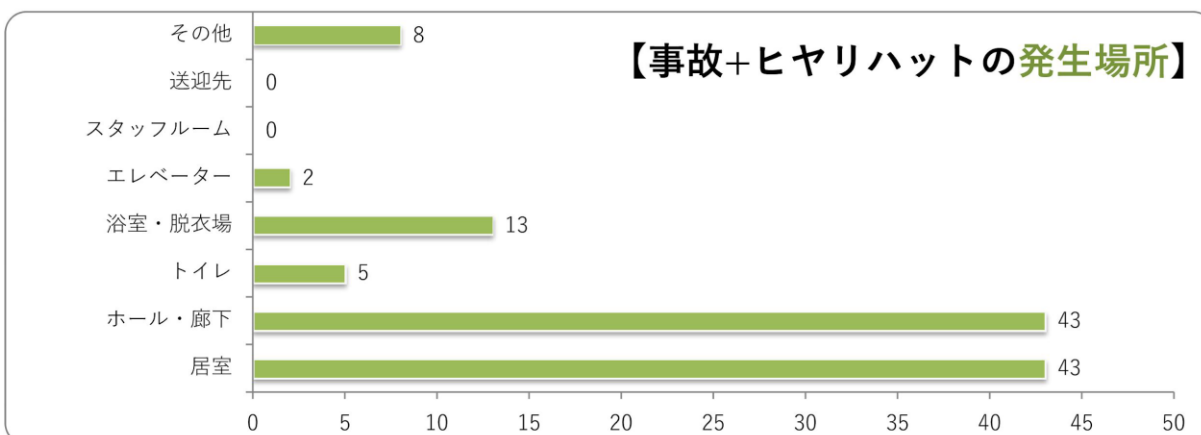
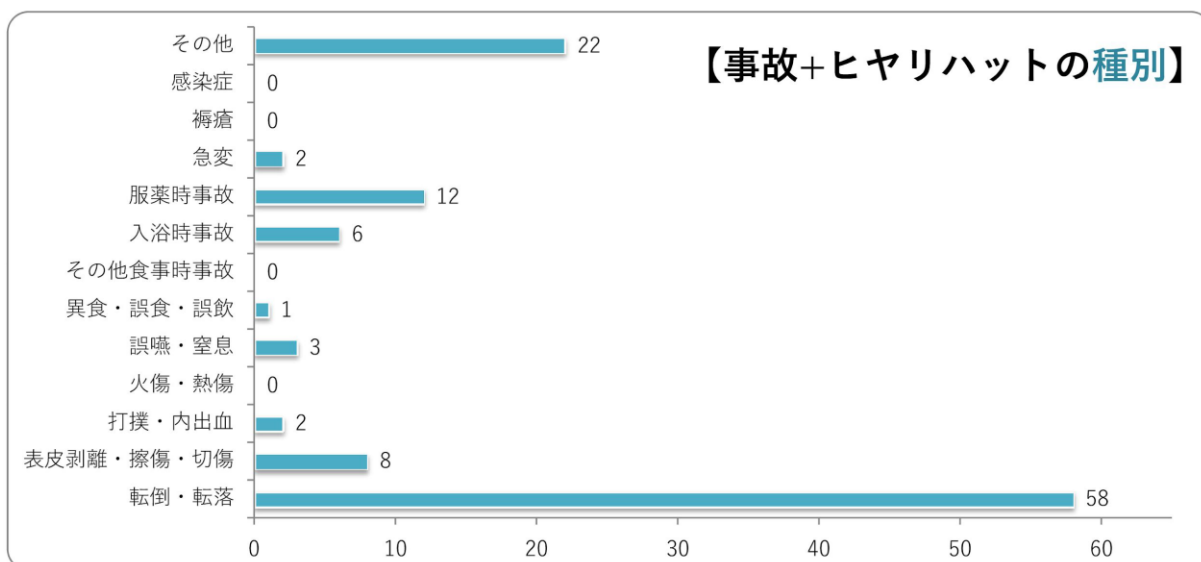


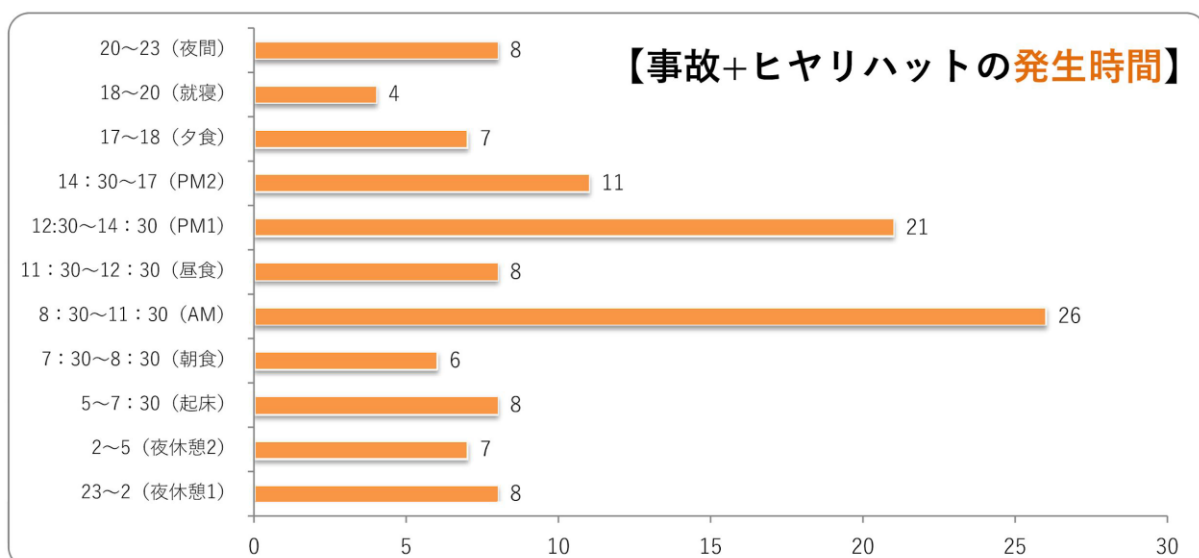
【総括】

- 第1波に関しては感染経路の特定ができず、最初の段階で同時多発的に感染が発生した
- 直ちにゾーニングを実施したが感染の規模の把握が難しく、新たな感染者の発生が断続的に続き、事態の収束までに時間と労力がかかってしまった
- 感染した利用者への直接的な対応で、職員も複数感染。身体的にも精神的にも大きな負担をかけてしまった
- 第2波に関しては感染経路が特定できていたため、陽性を確認する前の段階でゾーニングを実施でき、結果として感染者は1名にとどめることができた
- しかし、それでも1週間強の期間、業務を一部停止する必要があり、経営的な影響は大きい
(短期だけでなく通所事業所にも影響)
- 感染者が入院等で事業所を離れても濃厚接触者は残ることになり、その隔離期間がそのまま業務の縮小期間となり、経営を圧迫した

(3) 事故/ヒヤリハットの発生状況

2021年度 事故報告 53件 ヒヤリハット 61件 苦情報告 0件





(4) 行事/研修等の実績

①行事		②研修会/学習会	③会議等
4月	花見&散歩	R3 年度介護報酬改定 (内部)	事業部会
5月	運動会	感染防止 1 (内部)	事業部会
6月	共同作品制作 1	感染防止 2、ケア記録 (内部)	事業部会
7月	七夕祭り	排泄介助 (内部)	事業部会
8月	夏祭り		事業部会 (縮小開催)
9月	敬老会	感染防止 3 (内部)	事業部会 (縮小開催)
10月	秋のドライブ	感染防止 4、ハラスメント (内部)	事業部会
11月	共同作品制作 2	感染防止 5 (内部)	事業部会
12月	クリスマス会	感染防止 6 (内部)	事業部会
1月	新年会	看取り (外部オンライン)	事業部会 (縮小開催)
2月	節分 (中止)	感染防止 7 (内部)、ACP (外部オンライン)	事業部会 (縮小開催)
3月	ひな祭り	終末期によく使う薬 (外部オンライン)	事業部会

3. 令和 3 年度 (2021 年度) 居宅介護支援事業 事業報告

【令和 3 年度 基本方針】 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って公正、中立にケアマネジメント業務を遂行します。

(1) 担当件数

目標には達しませんでした。介護予防・予防マネジメントの件数は増えつつあります。

(2) ケアマネジメント

- ①重篤な疾患、認知症が進行しているケースも多く、本人家族の複雑な思いに添った援助を提供することが出来ました。
- ②困難事例も増えてきており行政、包括支援センター、民生委員を交えて検討する機会も増えました。地域のネットワークの構築に寄与する必要があります。

(3) 連携とスキルアップの為に行動

- ①主治医・専門医との連携、必要に応じ受診に同行し病状の把握連携を図りました。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響もあり、会議や研修会が縮小傾向にありましたが、オンラインの活用により、出来る限り参加しました。
- ③事業所内で常に情報交換、課題の共有を図りました。(部会の定期開催)
- ④カナミックネットワークを活用し、保険者、地域包括支援センター、サービス提供事業所との綿密な連携を行いました。
- ⑤他の居宅介護支援事業所との共同の勉強会を行いながら、地域資源の発見につなげました。

(4) 地域支援

- ①包括支援センター等と連携し圏域の地域ケア会議に参加し、高齢者の実態・地域のニーズ把握に努めました。
- ②在宅介護支援センターとして、地域の相談に対し必要に応じたサービス調整を行いました。

(5) その他

- ①6月より特定事業所加算（Ⅲ）取得しました。定期的ケア検討会議、24時間連絡体制等、しかるべき対応を行っております。
- ②ケアプラン記録システムを導入し、介護支援専門員1人づつがタブレットを携帯し、ご利用者宅等で入力、変更、印刷が可能となりました。業務の省力化を図ることができました。
- ③新型コロナウイルス感染症による様々な調整業務（利用調整・事業所対応）を行いました。

4. 令和3年度（2021年度）健康増進課[給食] 事業報告

【基本方針】 安心・安全・満足な食事作り

① 衛生管理の徹底

- ・新型コロナウイルス感染症への対応を含めて、出勤時の検温等の実施・記録、手洗い等の衛生管理を強化しました。配達業者への衛生管理についても徹底しました。
- ・毎月1回、油詰まりで不衛生になる排水管の掃除を始めました。

② 食事サービスの向上

- ・盛付や味付けなど、出来る限り細やかな気配りに心掛け、利用者からの好評の声をいただくことが多くなりました。

③ その他

- ・職員の退職（定年）等があり、業務が多忙になる時期もありましたが、職員相互に連携し適正に給食を提供することが出来ました。
- ・将来的な、業務の効率化を図るため、同法人内特別養護老人ホーム愛生苑厨房職員との連携について相互協議を行いました。

令和3年度（2021年度）特別養護老人ホーム愛生苑事業報告

令和3年度は昨年度に続き新型コロナウイルス感染症によって制限の多い生活を余儀なくされ、感染リスクが高いとされるご入居者の生活の場で支援に携わるだけに、慎重に現状を受け止め対応してきました。定期的に予定しているワクチン接種に、感染予防や重篤化予防が期待されますが、ご入居者様への対応や職員の感染予防共に今後も警戒を緩めず細心の注意を払っていきたいと思います。

稼働率は年間平均 97.5%の維持ができましたが、介護職員の退職やコロナの濃厚接触者や陽性者から影響で人員不足が生じたまま補充ができずに、職員に負担を掛けている状況が続きました。今後もコロナ禍の影響で人材不足が懸念されるため、人材確保について多様な雇用努力を行い、安定した運営が継続できるよう努力していききたいと思います。

座浴式の特殊浴槽を設置してからは、重度化が進むご入居者の安全確保と入浴介助への負担軽減を図っています。そして、タブレット記録システム導入により、介護記録の転記作業などの無駄を省いて記録業務の簡素化・効率化に向けた取り組みを進めており、今後も業務の効率化を図っていきます。また、看護師入退職により新たな体制での見直し改善が図られており、ご入居者や介護職員の医療面への安心や更なる連携強化に繋がっていきます。

I. 入退居等の状況

- ・令和4年3月31日現在の入居者： 39名（男性 9名・女性 30名）
年齢平均： 91.7歳
最低年齢 78歳(男性)・最高年齢 105歳(女性)
要介護度平均： 4.1
- ・年間退居者 4名（男性3名・女性1名）転院1名、死亡3名（内、看取り3名）
- ・年間入居者 3名（男性1名・女性2名）
- ・年間入院者 7名（誤嚥性肺炎・腎盂腎炎・腸閉塞等）平均入院日数 28日
- ・年間外来受診者 69名（内、救急搬送 3名）
（消化器内科、皮膚科、整形外科、脳外科、泌尿器科、精神科等）

II. 申込・待機者の状況

- ・令和3年4月1日～令和4年3月31日の申込数： 25件（男性 7件・女性 18件）
- ・令和4年3月31日現在の待機者数： 42名（男性 16名・女性 26名）
（要介護5：8名・4：11名・3：20名・2：3名）

III. 重点取組の報告

(1) サービスの標準化と個別ケアの充実

個々異なる入居者の状況や日々対応する職員が異なっても、適応したサービスが提供できるよう、業務マニュアル・ケアマニュアルに準じながら、施設サービス計画・24時間シートに基づく個別ケアに努めました。定期カンファレンスや毎月のユニット会議等での個別ケアの見直し、リーダー会議等で業務改善の見直しを図り、必要な改善を行いました。

(2) 実践能力向上への人材育成強化

新型コロナウイルス感染症の影響による外部研修の中止や、内部研修では感染症予防や発生時対応について実施するなどの変更を行っており、幅広い育成強化は図れませんでした。外部研修は参加方法にメリットのあるオンラインでの研修参加や資格取得に向けた受講も進めたいと思います。

(3) ユニット環境の整備と日常環境の活性化

新型コロナウイルス感染症の流行により感染予防を重視してきたことから、取り組みが進め難い状況でした。面会禁止やボランティア訪問・外出イベントの自粛など、感染症対策による制限への影響はご入居者の機能低下に現れており、少しでもストレスや不安感を和らげられるよう、季節行事など職員とのイベントやサークルについては積極的に実施しました。家族面会は

オンライン面会・窓越し面会を行っています、やはり寂しい思いをされており、不安による認知症の方への影響は大きく表れるため、職員が協力支援し不安軽減に努めています。

(4)個別の状況に応じた機能訓練の実施

個々の状況に応じ計画した運動等について、可能な限りの実施に取り組みました。ご入居者によっては意欲低下が顕著にみられ計画通りの継続実施が難しくなり、現況に応じた計画の見直しも行ってきましたが、心身機能低下への防止効果は低く重度化は増している現状にあります。今後も個別に重点を絞り計画実施し、日常生活を営むのに必要な機能低下防止に取り組んでいきます。

(5)健康・栄養・衛生管理の充実

新型コロナウイルス感染症の流行から施設内感染への危機感はより強くなり、感染防止対策の徹底と、ご入居者の状態把握や変調の早期発見・迅速対応に対し一層の連携強化を図ってきました。看護師を中心に職員連携し、病状による嘱託医の往診や総合病院への検査受診、緊急性を判断した救急搬送など、対応に遅れのないよう全力を尽くしています。また、健康維持に欠かせない食事摂取についても管理栄養士を中心に職員連携し、咀嚼・嚥下機能の個別状況に応じた形態・栄養補助食品の選別提供や、介助方法について随時検討を行い栄養状態の安定を図っています。

(6)危機管理（苦情・事故・災害対策）の推進

各会議等での協議、対策検討・評価を行い、継続して改善に取り組みました。

ご入居者やご家族の苦情となる前の「苦情ひやりはっと」報告1件あり、君呼びについて、「ちゃん付け」「略名」での呼び方は、施設目標として行わない方針であり、礼節、接遇の意識の欠落であるため厳重注意とし、猛省とともに意識の変革を促した。

「事故：71件」（表皮剥離19、擦過傷・切傷6、転倒7、尻餅6、ずり落ち・転落4、皮下出血16、誤薬2、与薬忘れ・紛失4等）

個人居室内の観察できない状況での発生が多く、年間を通して発生時不明の表皮剥離が多くありました。内服薬・外用薬について管理体制の見直しを図っており、関連事故の対策を強化していきます。対策を講じて防ぎきれない事故がある現状もありますが、今後も可能な限り事故発生を阻止できるよう取り組みます。

「災害対策」定期の避難誘導訓練では迅速な避難誘導ができていますが、実際の災害では大きな混乱が予想されます。訓練内容も様々な災害に対応できる訓練の実践は、福祉避難所の役割からも充実させていかなければなりません。必要なサービス提供が安定して継続できるよう、BCP（業務継続計画）策定に取り組んでいきます。

(7)権利擁護（虐待防止・身体拘束廃止）の推進

身体拘束（0件）原則廃止の共通意識を持ち、サービスを提供してきました。また、権利擁護推進委員会を中心に、職員アンケートで問題点や職員意識の把握を行い、馴染みの関係性が時に狎れ合いになった間違った言動に対し、施設目標や個人目標を立て改善に向けた取り組みを行いました。今後も委員会や各会議で定期的に評価していくなど、意識継続できるよう取り組みます。

(8)地域交流の充実・ボランティア活動支援

新型コロナウイルス感染症の流行により、施設内感染を防止することが最優先であることから、行事参加やボランティア訪問などの地域交流を全て中止してきました。現状からは再開の見通しは不明ですが、入居者の安全確保を第一に判断していきます。

(9)安定的な稼働率の維持・安定収入の確保

稼働率は年間平均97.5%（昨年比較0.7%減）でした。退居から入居までの空床期間は、ご家族都合等で入居までの日数短縮調整が難しいケースもありますが、長引いたケース（最長40日）は、入院先の病院から転院となり退去となったケースでした。また、入院期間の平均は21.7日（延べ152日、昨年より25日増）でした。新たな看護体制の更なる連携強化により、異常の早期発見と早期治療に努め、空床期間の短縮化を図ります。

IV. 活動実施報告

(1)イベント開催

(施設全体) 夏祭り、文化祭、獅子舞、初詣

(フロアー毎)

1・2丁目：おやつレク、紫陽花見学ドライブ、七夕会、敬老会、運動会、クリスマス会、
節分会、雛祭会

3・5丁目：敬老会、運動会、クリスマス会、節分会、雛祭会

(ユニット毎)

1丁目：誕生日会、桜見苑外散歩、おやつレク、鯉のぼり作成、新年会

2丁目：誕生日会、桜見苑外散歩、端午の節句、ドライブ、おやつレク、新年会

3丁目：誕生日会、桜見苑外散歩、紫陽花見学ドライブ、七夕会、新年会

5丁目：誕生日会、おやつレク、ドライブ、紫陽花見学ドライブ、七夕会、新年会

(2)サークル活動

(個別)・手芸(5月1回)：6名 ・書道(10月)：12名

・工作(7月2回)：各4名 ・園芸(11月)：8名

(合同)・運動レク・脳トレ(年間4回)

(3)各会議及び委員会

・特養部会(施設内全職員)：計2回(6月、10月)

・ユニットリーダー会議(ユニットリーダー、看護師、相談員、施設長)：毎月2回

・ユニット会議(ユニットメンバー、相談員又は施設長)：各ユニット毎月1回

・入居検討委員会(ユニットリーダー、看護師、相談員、施設長)：毎月1回

・給食・栄養ケア会議(栄養士、ユニットリーダー、看護師、相談員、施設長)：毎月1回

・「介護職員喀痰吸引等」安全委員会(ユニットリーダー、看護師、栄養士、相談員、施設長)
：計3回(4月7月11月)

・感染症対策委員会(ユニットリーダー、看護員、栄養士、施設長)
：計3回(6月10月12月)

・事故防止検討委員会(ユニットリーダー、看護員、施設長)：計3回(4月7月11月)

・身体拘束防止委員会(ユニットリーダー、看護員、相談員、施設長)：計3回(5月10月12月)

(4)職員研修

(外部)・吉田福祉基金研修(認知症)

・新型コロナウイルス感染症対策研修会(オンライン)

・福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程 中堅職員コース

(内部)・新型コロナウイルス感染症対策研修会

・接遇 ・事故防止、発生後対応

・新型コロナウイルス感染症予防対策研修

・介護現場でのプライバシー

(5)防災避難訓練等

・4月：火災通報装置取扱・初期消火・避難誘導訓練・避難用滑り台訓練

・10月：火災通報装置取扱・初期消火・避難誘導訓練・消火器訓練

心肺蘇生法・AED 取扱い

・消防設備法定点検、自主点検管理

・備蓄品の整備・維持管理

